

当組合における生成 AI 活用ガイドライン

長野八ヶ岳農業協同組合
令和 8 年 1 月 27 日制定

長野八ヶ岳農業協同組合（以下、JA 長野八ヶ岳）は、デジタル技術の進展を背景に、農協業務や組合員サービスのさらなる向上を目指し、「農協における生成 AI 活用ガイドライン」を策定しました。本ガイドラインは、生成 AI の適切かつ安全な利用を推進し、組合員・地域社会の信頼を守るための指針となります。2026 年 1 月より運用を開始し、職員教育や業務改善、情報発信など幅広い分野での活用を目指します。

1. 策定の背景と目的

近年、生成 AI（人工知能による文章・画像・音声等の自動生成技術）は、農業分野においても情報発信、業務効率化、教育支援など多様な活用が期待されています。一方で、情報の正確性や個人情報保護、倫理的課題など、新たなリスクも指摘されています。JA 長野八ヶ岳では、組合員や地域社会の信頼を守りつつ、生成 AI の利便性を最大限に活かすため、組織としての基本方針と具体的な運用ルールを定めました。

2. ガイドラインの内容

（1）利用目的の明確化

生成 AI は、業務効率化、組合員への情報提供、広報活動、教育・研修、事務作業支援など、農協の業務目的に沿った範囲で利用します。

（2）情報の正確性・信頼性の確保

生成 AI が出力した情報は、必ず職員が内容を確認し、事実誤認や誤解を招かないようチェックを徹底します。農業技術や経営指導など専門性の高い分野では、必ず専門職員や担当部署による最終確認を行います。

（3）個人情報・機密情報の管理

生成 AI の利用時には、組合員や第三者の個人情報、機密情報を入力しないことを原則とします。やむを得ず業務上必要な場合は、事前に適切な匿名化・加工を行い、情報漏洩リスクを最小限に抑えます。

（4）倫理・法令遵守

生成 AI の利用にあたり、著作権法、不正競争防止法、個人情報保護法など関係法令を遵守します。また、差別的・不適切な内容の生成や、虚偽情報の拡散を防ぐため、利用者教育を徹底します。

（5）利用記録の管理

生成 AI の利用履歴や出力内容は、一定期間保存し、万一のトラブル発生時に備えます。

(6) 教育・研修の実施

職員向けに、生成 AI の仕組みやリスク、ガイドライン遵守の重要性に関する研修を定期的実施します。

(7) 継続的な見直し

技術や社会情勢の変化に応じて、ガイドラインの内容を定期的に見直し、必要に応じて改訂します。

3. 今後の展開

本ガイドラインに基づき、JA 長野八ヶ岳では生成 AI を積極的かつ安全に活用し、組合員サービスの質向上、業務の効率化、地域とのコミュニケーション強化に取り組みます。今後も組合員・地域社会の声を反映し、より良い運用体制の構築を目指してまいります。